

講義名	基礎簿記（1年生のみ）		
科目区分	学部専門基礎		
担当教員	孫 美灵		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	22050

### 主題と概要

簿記は企業の利益を計算するための技術で、利益計算には二つの意味が含まれています。一つは儲けたかどうかを知るための事後的な計算（この計算結果は株主、銀行、一般投資家など会社外部の利害関係者に開示される）、もう一つは儲けるための事前的な計算（この計算結果は経営者が経営戦略を立てるために用いられる）です。この計算技術の基本的な仕組みが理解できなければ、会社経営はもちろん会社の経営実態を理解することができません（たとえば、株式投資のため企業分析を行うとき）。簿記の計算技術によって作成される財務諸表には、会社の経営実態を把握するための豊富な情報が含まれています。本講義では財務諸表を読むための第一歩となる複式簿記の基本をマスターすることを目的とします。講義内容は概ね日本商工会議所主催の簿記検定4級から3級までのレベルに相当します。

### 到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験4級、3級に相当する内容のうち重要な部分について理解できます。

### 提出課題

ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。

### 評価の基準

平常点50%、定期試験50%の割合で評価を行います。

### 履修にあたっての注意・助言他

### 教科書

### プリント資料及び参考文献

<プリント資料>  
講義中、配布します。

<参考図書>  
4級の参考図書：  
『段階式日商簿記4級商業簿記』三訂版税務経理協会出版、2008年  
3級の参考図書：

### 授業計画

- 第1回 会計と簿記の意義
- 第2回 貸借対照表と損益計算書
- 第3回 仕訳と転記
- 第4回 期中取引：商品売買取引
- 第5回 期中取引：商品売買取引
- 第6回 期中取引：現金・預金取引
- 第7回 期中取引：手形債権債務・未収入金/未払金
- 第8回 期中取引：固定資産
- 第9回 試算表の作成
- 第10回 中間試験
- 第11回 決算とは
- 第12回 決算整理：売上原価の計算
- 第13回 決算整理：減価償却
- 第14回 精算表の作成
- 第15回 精算表の作成

### 予習・復習

簿記の知識を習得するには、授業中の学習だけでは不十分で、必ず自宅での予習と復習が必要となります。その一方で簿記は正解が一つしかないため、自分の理解が正しいかどうか確認しやすく、こつこつ努力した成果が成績に如実に反映される科目でもあります。

### 備考